

3 曲

2024. 5. 29

5月も下旬になり、さすがに朝の生活スタイルが固まってきた。家を出る時間、幼稚園に着く時間ともに、だいたい決まってきた。車の中では、ラジオを聞く、音楽を流す、何も音を出さないなど、いろいろなスタイルがあることだろう。今のところ、毎朝、音楽を聴きながら運転している。

以前は、流れてくる曲をそのまま聴いていた。現在の通勤時間からすると、幼稚園に着くまでに聴くことができるのは、おおよそ3曲である。いつの頃からか、この3曲を選ぶようになった。その日のベストセクション3曲である。Spotifyのお気に入りの曲全316曲から選ぶようになる。

最近の3曲は、佐野元春である。詞の内容が朝に合っているわけではないが、曲想がいい。今の気候にも合う。逆に言うと、冬には合わない。我が大学時代に、よく聴いた曲ばかりである。聴いていると、モチベーションが上がってくる。きっと、若い方からは、共感は得られないだろう。ある一定年代よりも上の方ならば、わかってもらえるはずである。

これを、浜田省吾にすると、だいぶ様相は違ってくる。気分が上がるという話ではない。ついつい聴き入ってしまう。これも、我が20代の音楽である。

お気に入りの曲リストも、いつの間にか300曲を超えた。素直に聴いていれば、その1曲は、316回に1回しか流れてこない。だが、実際は、特定の曲ばかりを聴いている。この前、長男が車を運転した。私のお気に入りの曲リストは、どうも若者には受けがわるく、息子の Spotify につないだ。息子いわく、600曲あるとのことだった。300曲は、たいしたことはなかったようである。

若者セレクトの曲を聴くことになったが、自分のリストと重複するものもけっこうあった。何だか安心した。しかし、佐野元春も浜田省吾もなかった。当たり前か。今の若者にとっての佐野元春や浜田省吾は、誰なのだろう。一度、尋ねてみたい。

朝の3曲は、最近では佐野元春だが、そのうち変わるだろう。なぜなら、すぐに飽きる性格だからである。季節は夏に向かう。梅雨もある。どんな3曲が合うだろうか。朝、車に乗り、お気に入りの曲から3曲を選ぶのが、ちょっとした楽しみにもなっている。

朝は、大切である。頭の回転がよく、自分にキレを感じるのは、11時くらいまでである。ここままで、重要なことは終わらせたい。特に、7時から8時は、自分にとってのゴールデンタイムである。その呼び水になるのが、朝の3曲である。そう考えると、ぜひベストセクションにしたい。